

#### [方針4] 資産運用

私たちは、将来にわたってお客さまに保険金等を確実にお支払いするため、資本・収益・リスクを一体的に管理する戦略的な経営管理手法（ERM）のもと、資産運用の高度化に取り組めます。

#### 具体的な取り組み内容

- 長期にわたるお客さまへの保障責任を確実に果たすには、経営を取り巻く様々なリスクを資本の一定範囲内に適切にコントロールしつつ、安定的な収益の確保を追求していくことが重要です。  
このため、当社では、同一の評価基準で定量化した資本・収益・リスクを一体的に管理し、健全性を確保しつつ収益を追求する戦略的な経営管理手法（ERM：エンタープライズ・リスク・マネジメント）のもと、収益源泉の多様化を進めております。
- 具体的には、安定的な収益が見込める公社債等の円金利資産を中心とした取り組みを基本とし、ERMのもとで健全性の確保に十分配慮しつつ、資産運用収益の向上に努めております。
- また、当社は2024年8月に公表されたアセットオーナーの運用・ガバナンス・リスク管理に係る共通原則「アセットオーナー・プリンシプル」の趣旨に賛同し、受入れを表明しました。アセットオーナーとして最適な運用手法を選択するため、資産運用機能の向上や効率化を目的に、グループ内外の運用会社への運用委託も活用しています。なお、運用委託に際しては、組織体制や運用状況などを定期的にモニタリングし、継続的な委託の可否について確認しています。
- 加えて、当社は機関投資家として社会的責任をより一層果たしていくため、『責任ある機関投資家の諸原則《日本版ステュワードシップ・コード》』を受け入れ、投資先企業の健全な成長を促すことによる中長期的な投資リターンの向上を目指すとともに、国連が提唱する『責任投資原則（PRI）』に署名機関として、ESG（環境・社会・企業統治）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を推進しています。
- なお、資産運用の状況はディスクロージャー資料等で開示しております。